

2015年3月期第3四半期 決算説明会資料



2015年2月4日
三井物産株式会社

(注) 本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。また、これらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

2015年3月期第3四半期決算サマリー

◆ 経営成績:

- ✓ EBITDAは6,654億円。資源・エネルギー価格下落の影響を数量増加の効果が上回り、前年同期比+474億円。
- ✓ 四半期利益は2,544億円。鉄鉱石価格下落を主因に、前年同期比▲625億円。

◆ 年間業績(当期利益)予想は、従来予想3,800億円から3,200億円に修正。 原油価格急落の影響により第3四半期に計上した石油・ガス生産事業 (イーグルフォード、北海)の減損480億円が主因。

◆ 基礎営業キャッシュ・フローは前年同期比+653億円の5,685億円を獲得、 フリーキャッシュ・フローは2,115億円の黒字。

◆ 予想年間配当金額は、従来の1株あたり64円(中間配当32円含む)を据え置く。

2015年3月期第3四半期決算

世界経済は、堅調な景気拡大を続ける米国が牽引するも、日欧の景気回復ペースは想定より遅く、新興国でも停滞の色合いが強まったことから、全体としての成長率は横ばい。鉄鉱石価格*は\$70/トン近辺で推移、原油価格**も\$50/バレルへ急落。

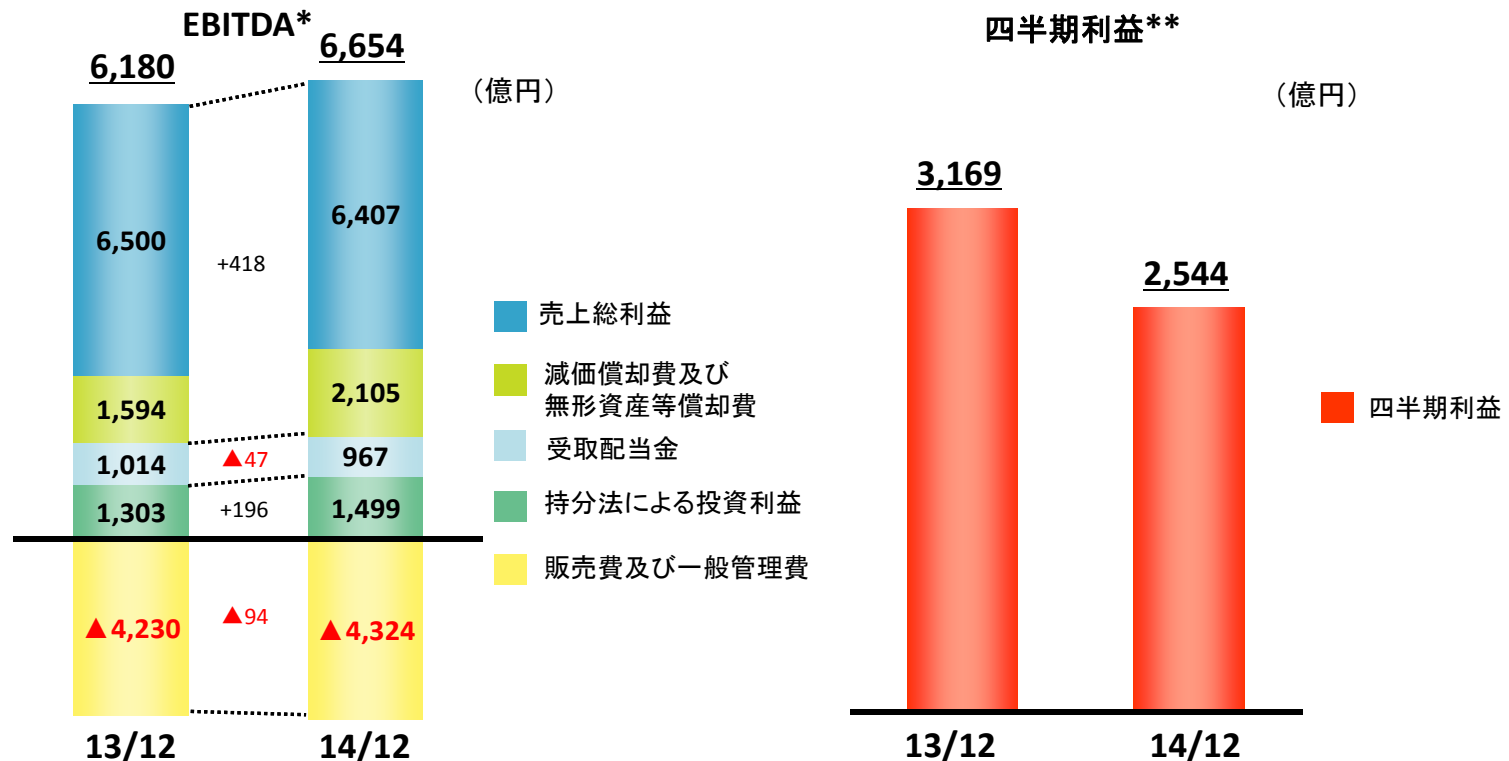
◆ EBITDA: 6,654億円(前年同期比 +474億円)

* Fe 62% CFR North China ** ドバイ原油スポット価格

売上総利益(減価償却費足し戻し後)は、原油・ガス・鉄鉱石の数量増が、鉄鉱石・石炭価格の下落を上回り、418億円の増加。

◆ 四半期利益: 2,544億円(前年同期比▲625億円)

- 為替の影響(資源通貨安・円安)があったものの、鉄鉱石価格の下落を主因に減益。
- 一過性要因は、前年同期反動増340億円あるも、第3四半期の原油価格急落による石油・ガス生産事業の減損(イーグルフォード▲390億円、北海▲90億円)等あり、ネットでは▲90億円。



* 売上総利益+販売費及び一般管理費+受取配当金+持分法による投資利益+減価償却費及び無形資産等償却費四捨五入により合計が合わない箇所があります。

** 本資料では第3四半期累計期間の「四半期利益(親会社の所有者に帰属)」を「四半期利益」と表記しています。

年間業績予想(修正)

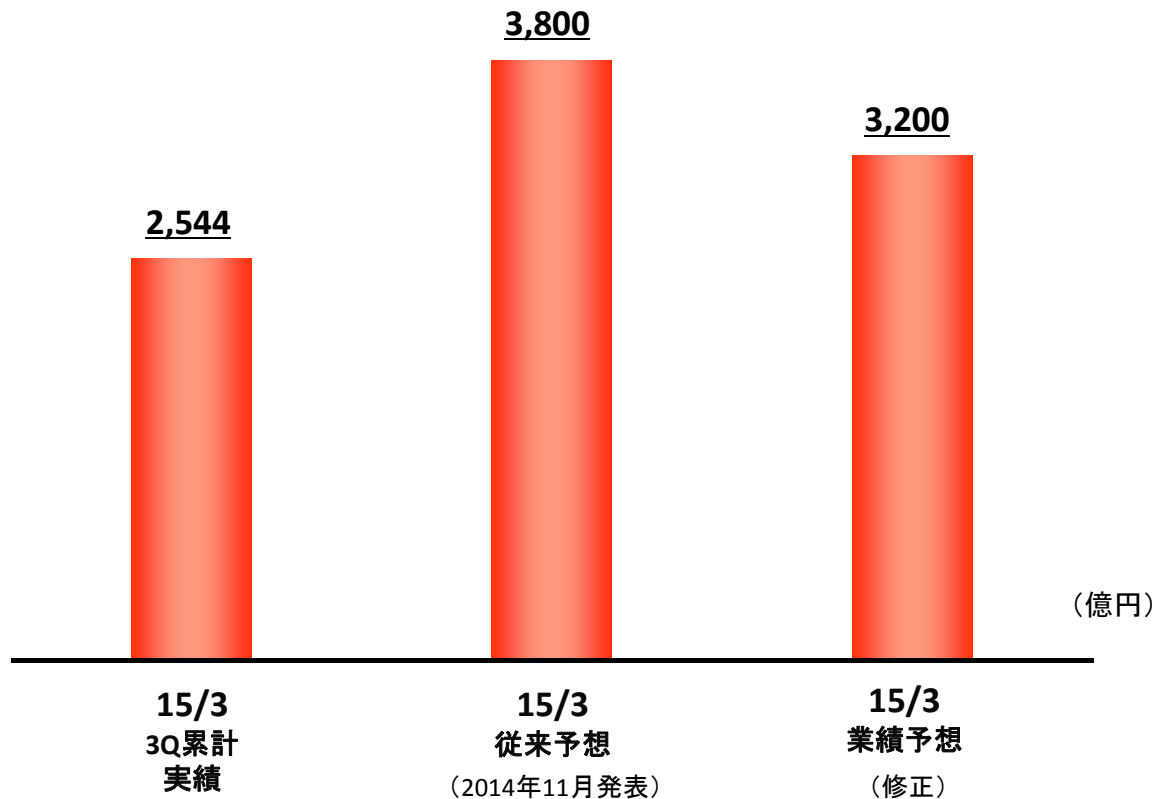
◆ 従来予想(当期利益)3,800億円から3,200億円に修正

◆ 主な減益要因

- 石油・ガス生産事業減損: ▲480億円
- 鉄鉱石価格下落
- Valepar外貨建負債の為替評価損
- LNG配当減

◆ 主な増益要因

- 本邦法人税率の引下げによる繰延税金負債の取り崩し: +約200億円
- TPV Technology株式の売却益・評価益



2015年3月期第3四半期 投融資・リサイクルの進捗

- ◆ 投融資は、既存事業 + パイプライン案件を中心に約5,150億円。
- ◆ 資産リサイクルも着実に実行し、約2,600億円を回収。ネット資金支出は約2,550億円。

セグメント	第3四半期累計 実行分 (億円)	主 要 案 件*
鉄 鋼 製 品	50	米自動車プレス部品事業
金 属 資 源	600	豪州鉄鉱石港湾・インフラ拡張、豪州鉄鉱山開発
機 械・インフラ	1,750	ブラジル一般貨物輸送事業**、FPSOリース
化 学 品	350	米メタノール製造、米農薬用殺菌剤事業
エ ネ ル ギ ー	1,450	タイ沖事業開発、米シェールオイル・ガス開発
生 活 産 業	350	中国物流施設開発事業、国内不動産
次世代・機能推進	100	米ベンチャー投資、保険ファンド出資
海 外	500	豪州風力発電事業、米タンクターミナル拡張
合 計	5,150	既存事業 + パイプライン案件 4,150 新規事業 1,000
リサイクル	▲2,600	リクルート株式、Valepar優先株、ファイナンスリース債権
ネ ッ ト	2,550	

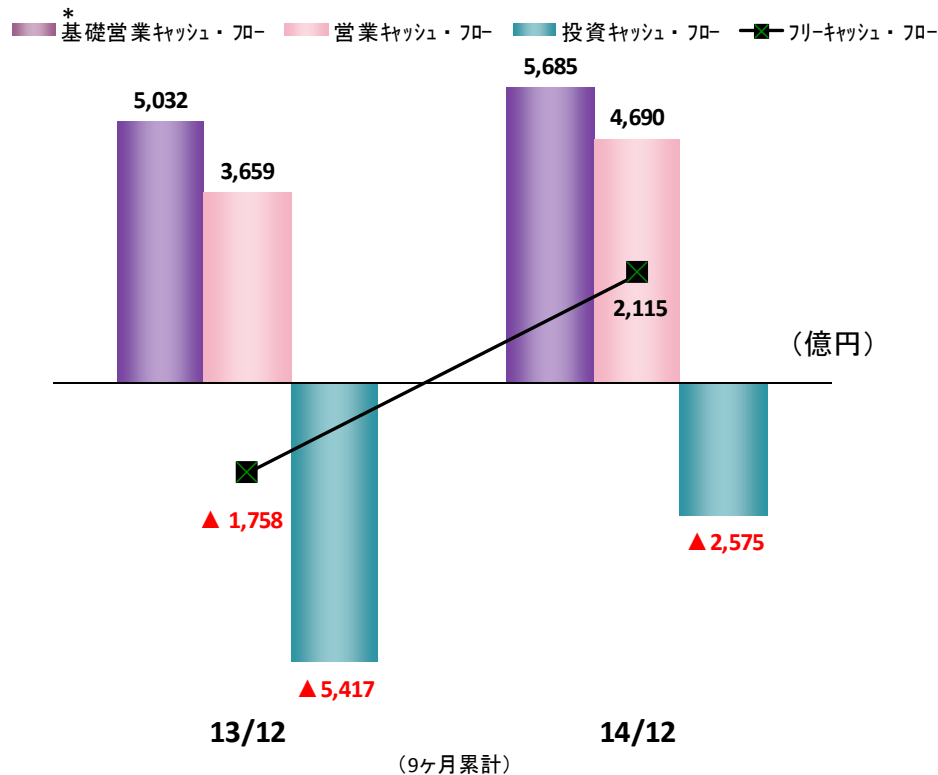
* 青字の案件は当第3四半期で新たに実行したもの。

** 14/3期中に実行予定案件が期ずれしたもの。新中期経営計画の対象外。

キャッシュ・フロー、バランスシート

キャッシュ・フロー

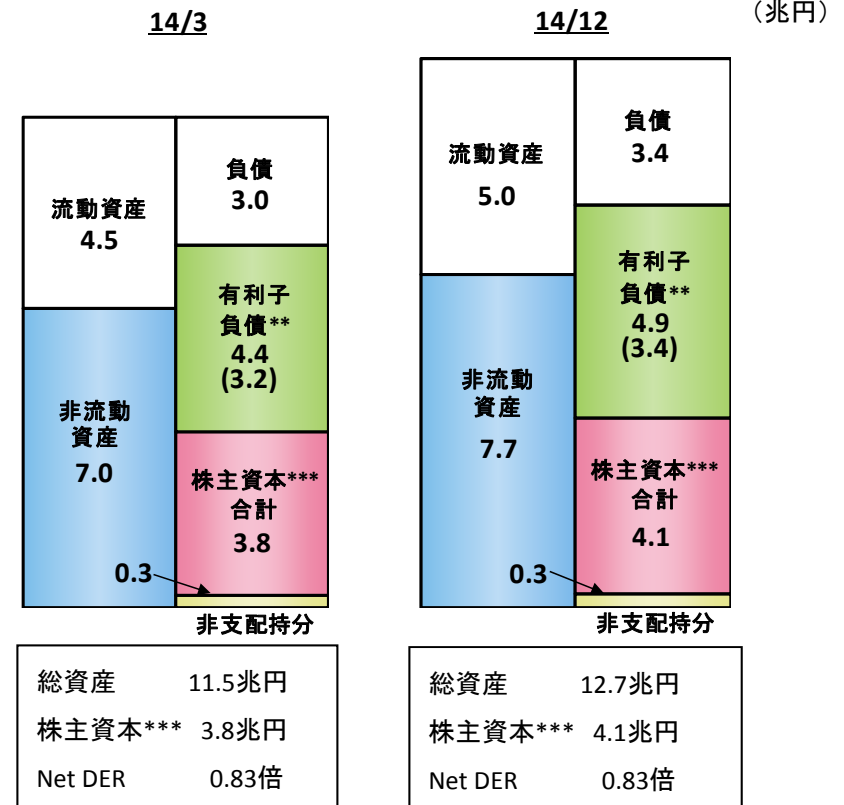
- ◆ 基礎営業キャッシュ・フローは5,685億円を獲得。
- ◆ フリーキャッシュ・フローは2,115億円の黒字。



* 営業活動に係るCF - 運転資本の増減に係るCF

バランスシート

- ◆ 株主資本は、円安の影響及び利益剰余金の積み上げにより約3,200億円増加。
- ◆ ネットDERは0.83倍。

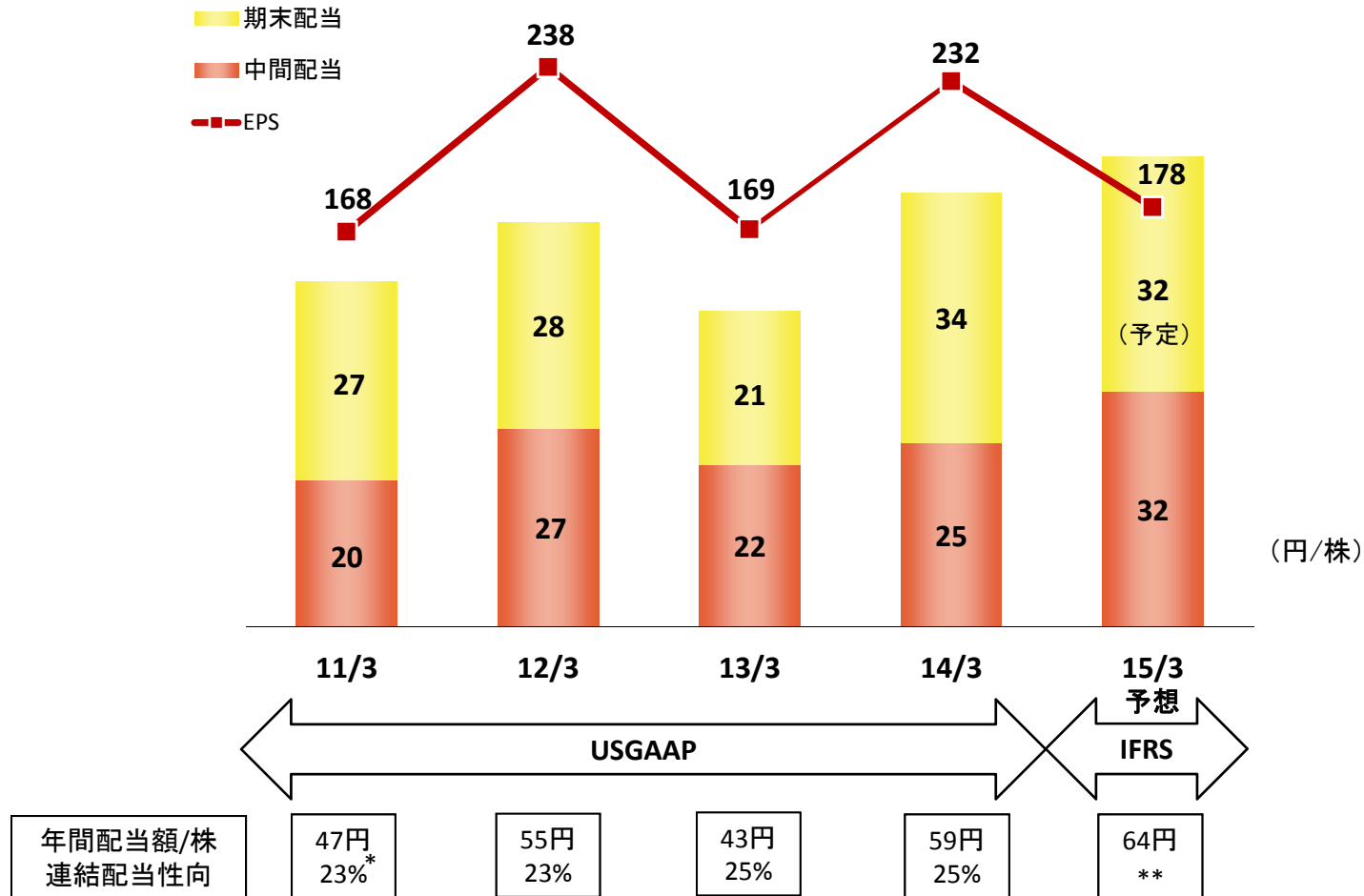


** 有利子負債のカッコ内数字は、ネット有利子負債

*** 本資料では「親会社の所有者に帰属する持分」を、株主資本と表記しています。

2015年3月期 配当予想

◆ 予想年間配当額は、従来予想の64円／株を据え置き。(内、中間配当として、32円／株を支払済み)



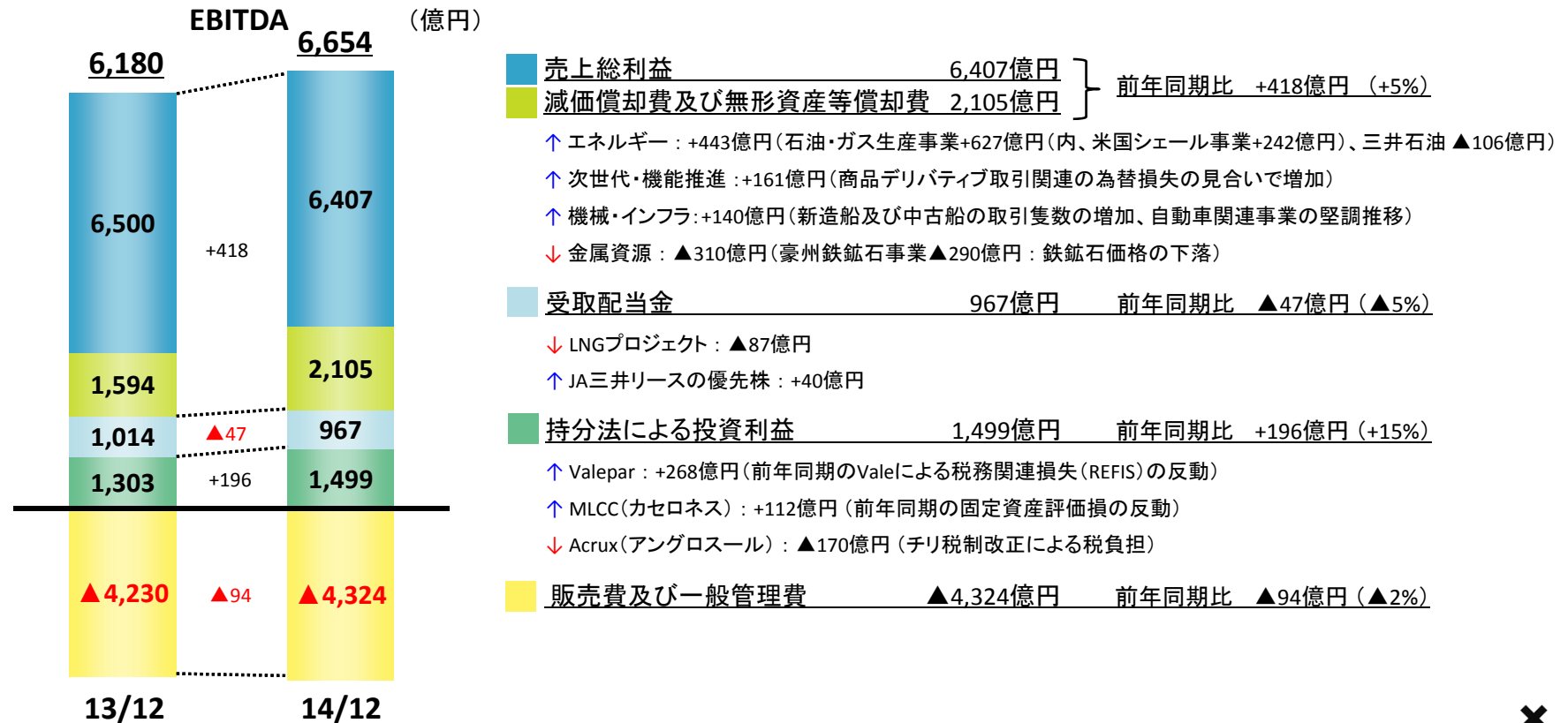
* 後発事象として11/3期に認識したメキシコ湾原油流出事故和解金等の影響額を当期純利益から除いた3,679億円を前提に、連結配当性向23%を適用。

** 当期利益(親会社の所有者に所属)3,200億円を前提に64円/株を維持した場合の配当性向は36%。

補足説明

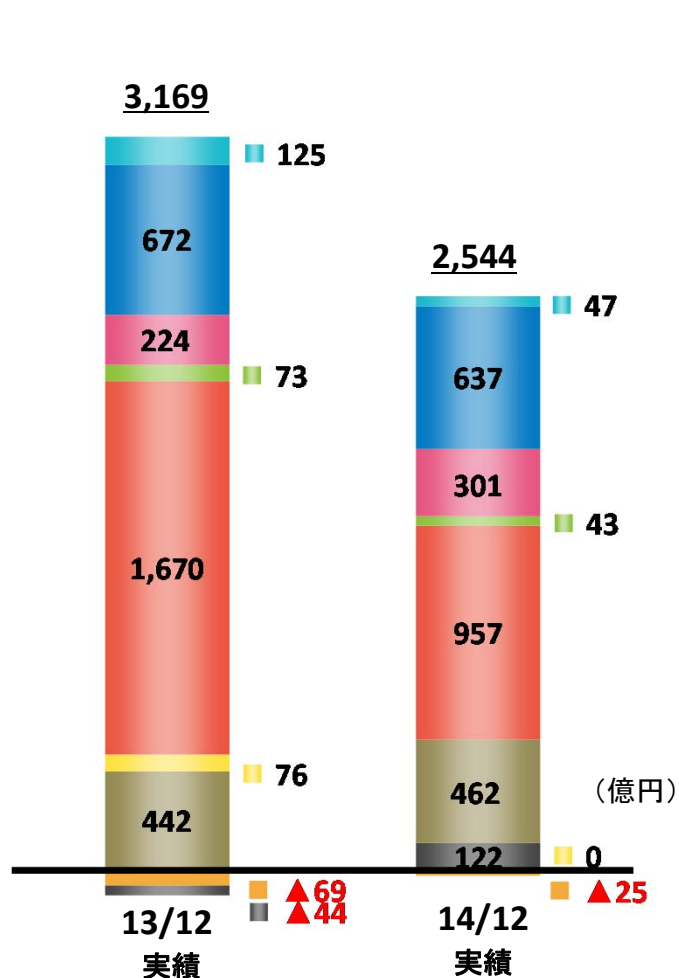
EBITDAの前年同期比較

- ◆ 売上総利益(減価償却費足し戻し後):石油・ガス生産事業の好調が、鉄鉱石価格の下落を補い、418億円の増加。
- ◆ 受取配当金: LNGプロジェクトからの配当減を主因に、47億円の減少。
- ◆ 持分法による投資利益: チリ税制改正に伴う税負担あるも、前年同期の一過性損失の反動等により、196億円の増加。



セグメント別四半期利益の前年同期比増減

(数値は税後ベース)



エネルギー 957億円 前年同期比 ▲713億円 (▲43%)

- ↓ イーグルフォード・シェールオイル・ガス、北海油・ガス田事業の減損 ▲480億円
- ↓ LNGプロジェクトからの受取配当金減 ▲87億円
- ↓ MEPMEは、コスト増や前年同期のエジプト油田権益売却益の反動を主因に ▲81億円
- ↓ MEPMOZは、持分増加に伴うコスト負担増により ▲55億円
- ↑ MEPAUは、油田生産設備の改修に伴う生産量減の反動を主因に +84億円

鉄鋼製品 47億円 前年同期比 ▲78億円 (▲62%)

- ↓ LNGプロジェクト向けラインパイプ出荷終了等
- ↓ 海外鋼材市況低迷による数量減

生活産業 0億円 前年同期比 ▲76億円 (▲100%)

- ↓ Multigrain は、集荷・販売不調により ▲72億円
- ↑ 持分法投資の売却益 +30億円(当期: 上海森茂+65億円、前年同期: グランマルシェ他)

金属資源 637億円 前年同期比 ▲35億円 (▲5%)

- ↓ 豪州鉄鉱石事業は、コスト削減、数量増の一方、鉄鉱石価格下落により ▲259億円*
- ↓ チリ税制改正による税負担 ▲167億円
- ↑ Valeparは、前年同期のValeによる税務関連損失の反動を主因に +172億円
- ↑ 前年同期のMLCC(カセロネス)減損の反動 +132億円

*当セグメント持分

機械・インフラ 301億円 前年同期比 +77億円 (+34%)

- ↑ 新造船及び中古船の取引隻数増加
- ↑ 物流インフラ及びブラジルガス配給・コジェネ事業堅調

化学品 43億円 前年同期比 ▲30億円

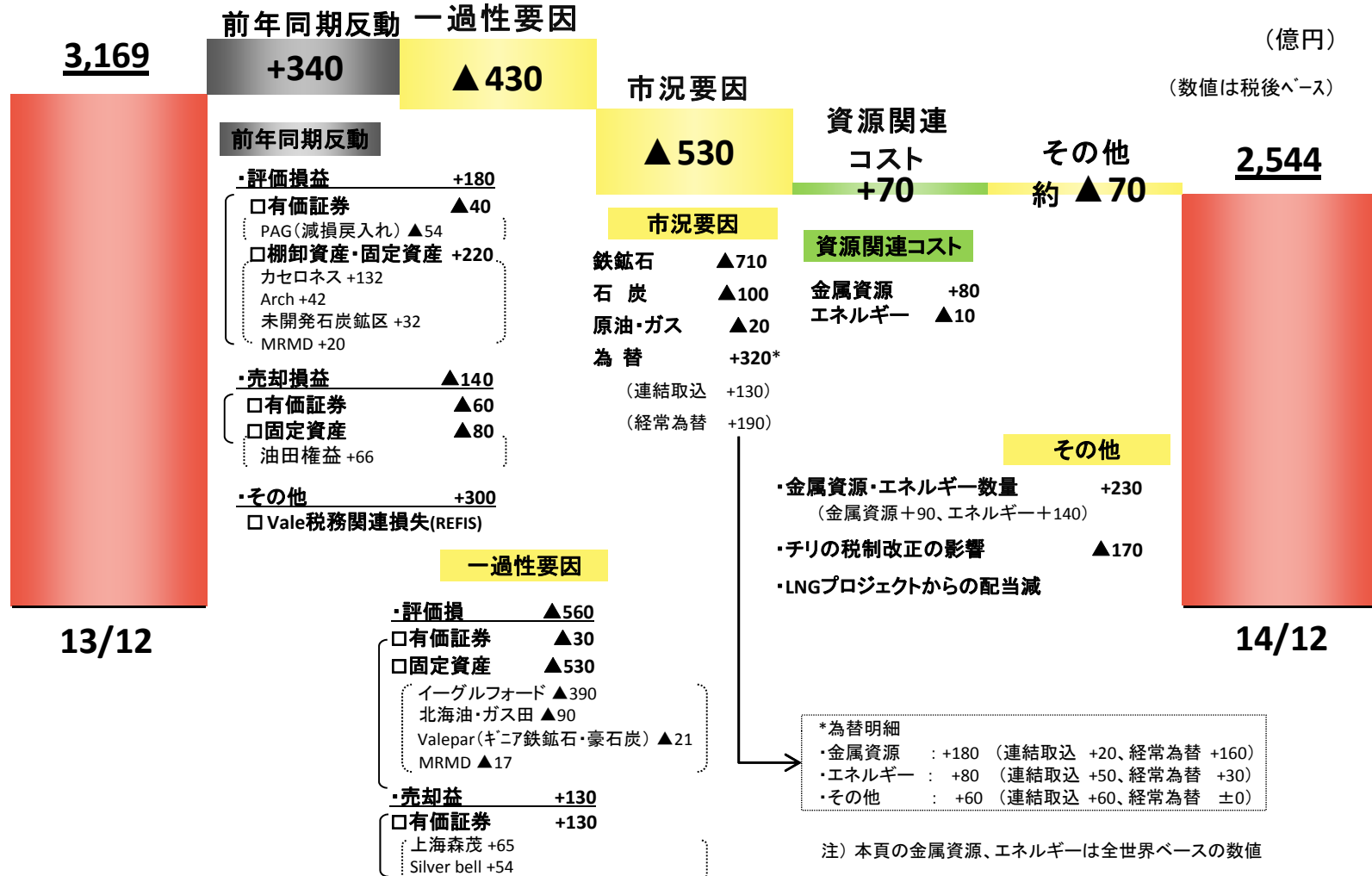
次世代・機能推進 ▲25億円 前年同期比 +44億円

海外 462億円 前年同期比 +20億円

その他、調整・消去 122億円 前年同期比 +166億円

- ↑ 一般社外宛投資の売却に伴う法人税の負担減 +143億円

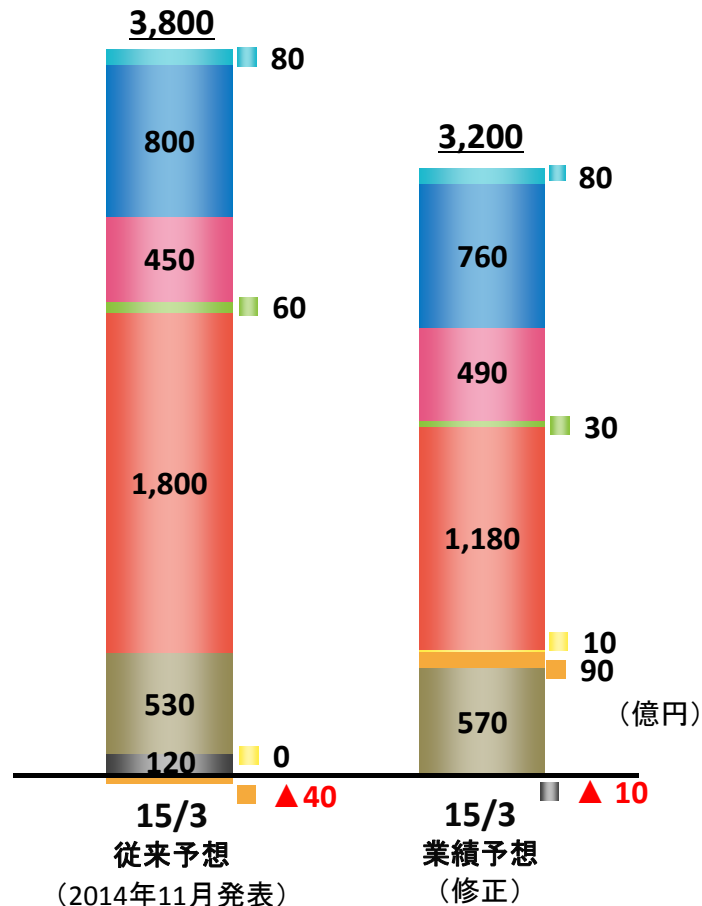
前年同期比 増減要素



セグメント別年間業績予想(修正)

- ◆ エネルギーセグメントは、第3四半期に認識したイーグルフォード・シェールオイル・ガス及び北海油・ガス田事業の減損やLNGプロジェクトからの配当減により、▲620億円の下方修正。
- ◆ 次世代・機能推進セグメントは、TPV Technology株式の売却(第4四半期に予定)を主因に、+130億円の上方修正。

(数値は税後ベース)



エネルギー	1,180億円	従来予想比	▲620億円
↓ イーグルフォード・シェールオイル・ガス、北海油・ガス田事業の減損 ▲480億円			
↓ LNGプロジェクトからの受取配当金の減少			
↓ ENEOSグローブにおけるLPG価格下落に伴う在庫評価損			
金属資源	760億円	従来予想比	▲40億円
↓ 鉄鉱石価格の下落			
↓ Valeparの外貨建負債の為替評価損			
↑ 法人税率の引下げによる繰延税金負債の取り崩し			
次世代・機能推進	90億円	従来予想比	+130億円
↑ TPV Technology株式の売却益・評価益			
機械・インフラ	490億円	従来予想比	+40億円
↑ 自動車関連事業の堅調推移			
↑ 法人税率の引下げによる繰延税金負債の取り崩し			

化学品	30億円	従来予想比	▲30億円
海外	570億円	従来予想比	+40億円
生活産業	10億円	従来予想比	+10億円
鉄鋼製品	80億円	従来予想比	±0億円
その他、調整・消去	▲10億円	従来予想比	▲130億円

Appendix

2015年3月期 年間業績予想における前提条件及び感応度

価格変動の15/3期当期利益への影響額（2014年5月公表）			15/3期 従来予想 （2014年11月公表）	15/3期 3Q累計 （実績）	15/3期 4Q （前提）	15/3期 通期予想 （3Q累計・4Q平均値）
市況商品	原油／JCC	18億円 （US\$1/バレル）	98	103.08	60	92
	連結油価（*1）		103	108.58	86	103
	米国ガス（*2）	3億円 （US\$0.1/mmBtu）	4.38	4.42 ^{（*3）}	4.25 ^{（*4）}	4.38
	鉄鉱石	25億円 （US\$1/トン）	（*5）	88.63 ^{（*6）}	（*5）	（*5）
	銅	7億円 （US\$100/トン）	6,957	6,939 ^{（*7）}	6,500	6,829
為替 （*8）	米ドル	27億円 （¥1/米ドル）	106.81	107.75	115	109.57
	豪ドル	15億円 （¥1/豪ドル）	95.30	96.54	100	97.41
	伯リアル	5億円 （¥1/伯リアル）	45.38	45.71	45	45.53

（*1）原油価格は0～6ヶ月遅れで当社連結業績に反映されるため、この期ずれを考慮した連結業績に反映される原油価格を連結油価として推計している。
15/3期には35%が4～6か月遅れで、41%が1～3か月遅れで、24%が遅れ無しで反映されると想定される。

（*2）米国シェールガスはHenry Hub（HH）に連動しない価格でも販売しているため、上記感応度はHH価格に対する直接的な感応度ではなく、加重平均ガス販売価格に対する感応度。

（*3）NYMEXにて取引されるHenry Hub Natural Gas Futuresの2014年1月～9月の直近限月終値のdaily平均値を記載。

（*4）HH連動の販売価格は、HH価格US\$4.25/mmBtuを前提として使用している。

（*5）鉄鉱石の前提価格は非開示。

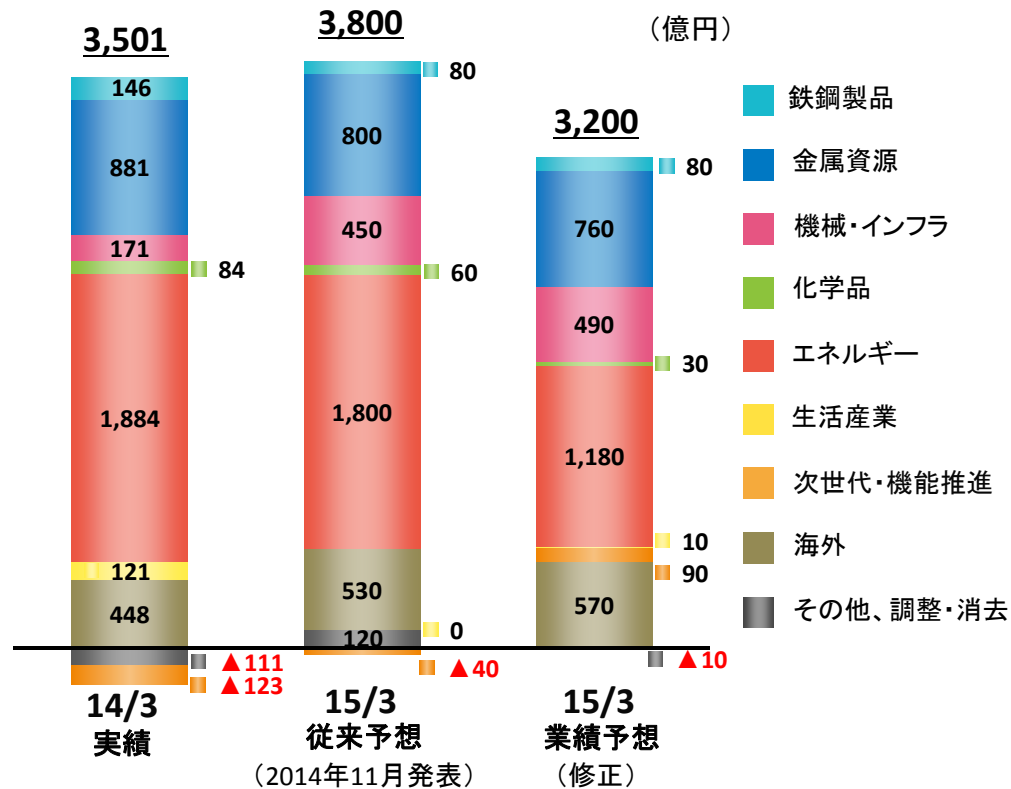
（*6）複数業界紙によるスポット価格指標Fe 62% CFR North Chinaの2014年4月～12月のdaily平均値（参考値）を記載。

（*7）LME cash settlement priceの2014年1月～9月のmonthly averageの平均値を記載。

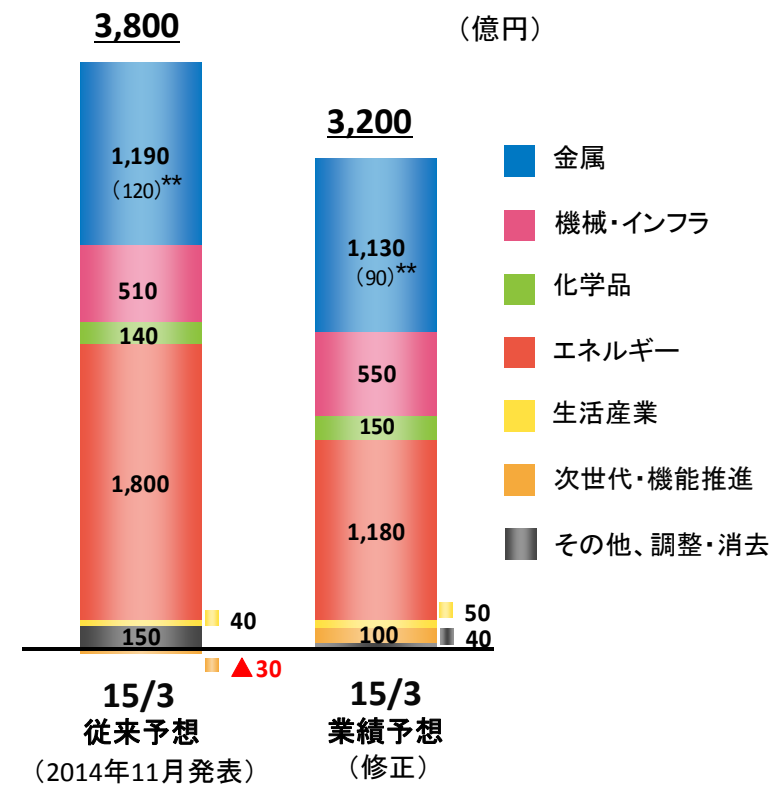
（*8）各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期利益に対する感応度。円安は機能通貨建て当期利益の円貨換算を通じて増益要因となる。
金属資源・エネルギー生産事業における販売契約上の通貨である米ドルと機能通貨の豪ドル・伯リアルの為替変動、及び為替ヘッジによる影響を含まない。

2015年3月期 年間業績予想(修正)

セグメント別

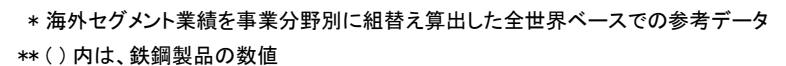


事業分野別(参考値*)

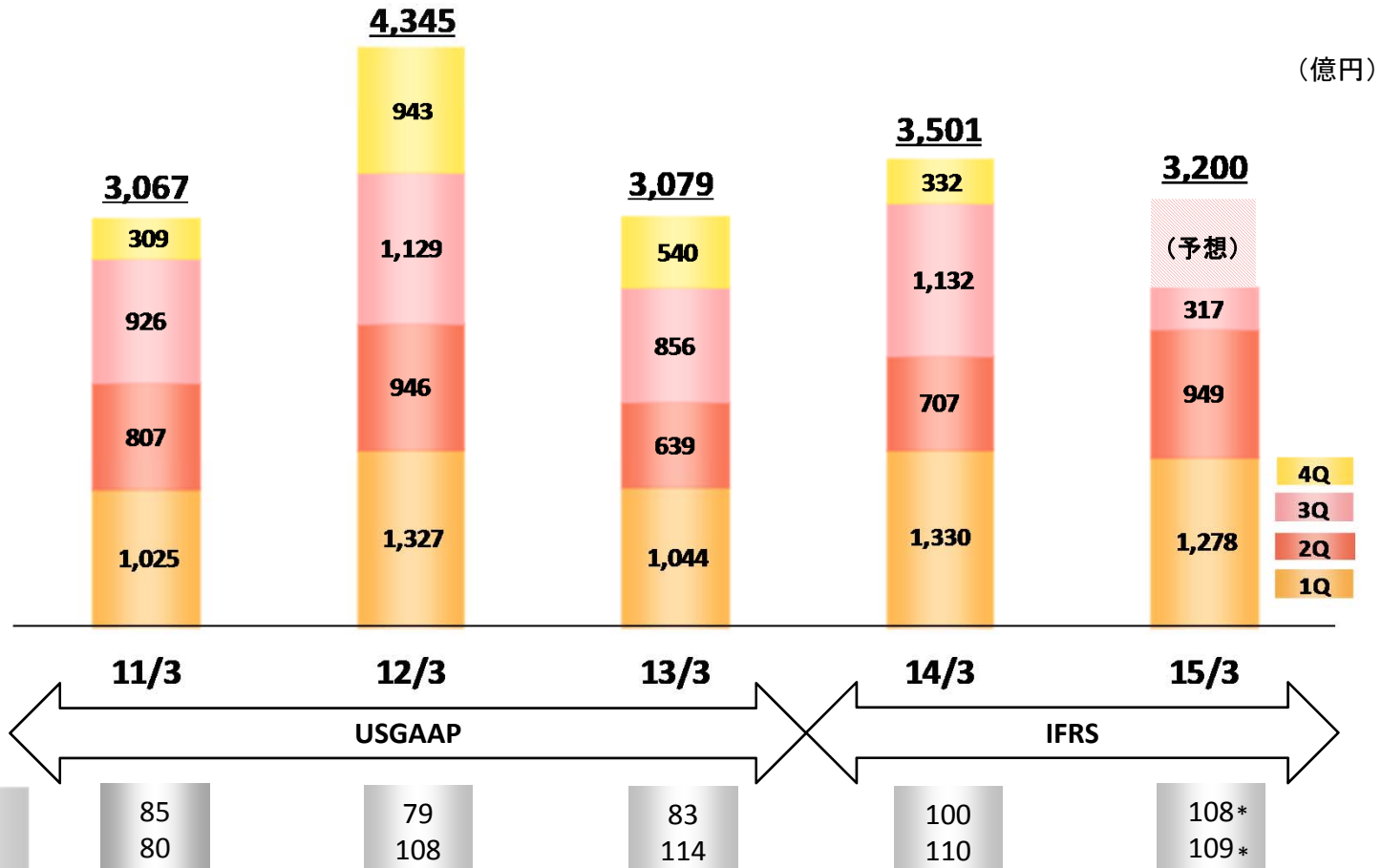


* 海外セグメント業績を事業分野別に組替え算出した全世界ベースでの参考データ

** () 内は、鉄鋼製品の数値



四半期利益の推移



* 第3四半期9ヶ月平均値

中国向け鉄鉱石スポット価格推移 (参考値*)



* 業界紙複数社によるスポット指標平均

当社持分権益出荷量実績

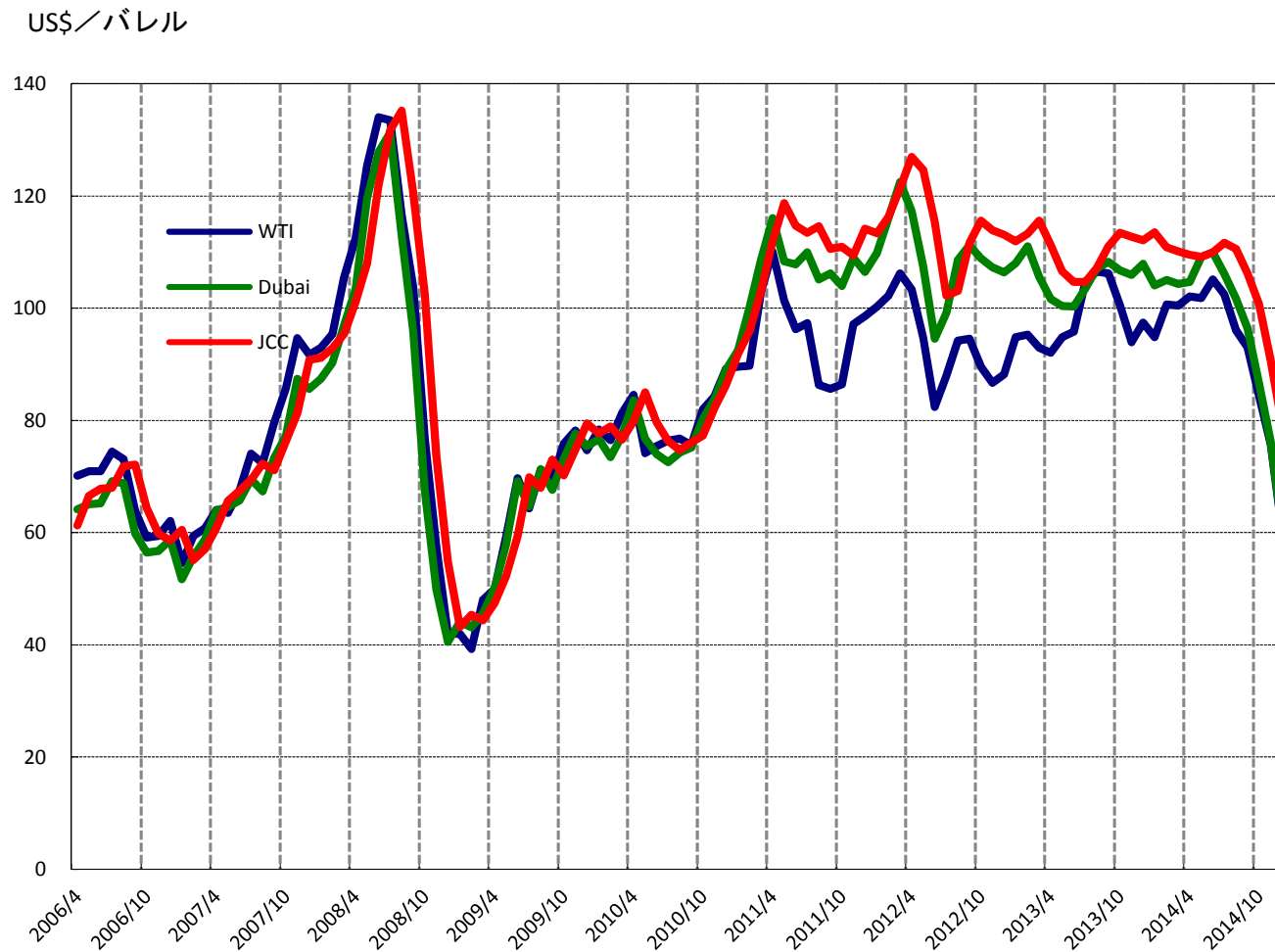
	14/3期 1Q	14/3期 2Q	14/3期 3Q	14/3期 4Q	14/3期 累計	15/3期 1Q	15/3期 2Q	15/3期 3Q*	15/3期 累計
鉄鉱石 (百万トン)	12.0	13.0	13.5	12.8	51.3	13.2	13.8	13.9	40.8
MIOD	7.4	8.1	8.0	6.9	30.4	7.9	8.0	8.1	24.0
MII	1.3	1.3	1.3	1.6	5.6	1.9	1.9	1.9	5.7
Vale*	3.3	3.6	4.2	4.2	15.3	3.4	3.8	3.9	11.1
石炭 (百万トン)**	2.5	2.7	2.8	2.8	10.7	2.9	3.2	3.2	9.3
MCH	2.1	2.3	2.4	2.4	9.1	2.3	2.5	2.3	7.1
BMC*	0.4	0.4	0.4	0.4	1.6	0.4	0.4	0.5	1.3
原料炭	1.6	1.7	1.9	1.7	7.0	2.1	2.0	2.0	6.1
一般炭	0.8	1.0	0.9	1.0	3.7	0.6	0.9	0.7	2.3
銅 (千トン)**	21.2	23.6	31.2	32.3	108.3	29.1	25.7	26.2	81.1

* Vale、BMC及び銅は1Q:1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月の実績

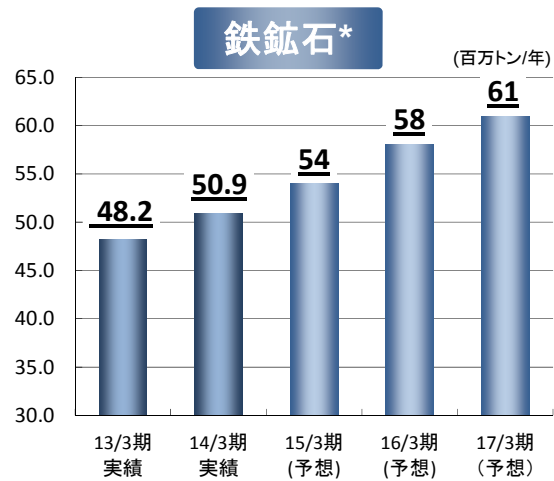
** Vale出荷分の5%を含む。

※四捨五入により合計が合わない箇所があります。

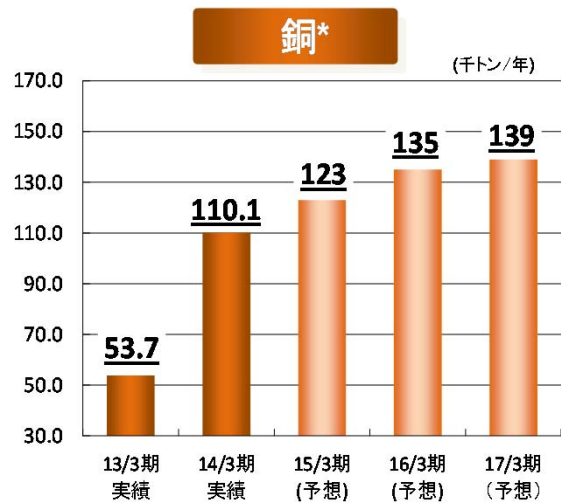
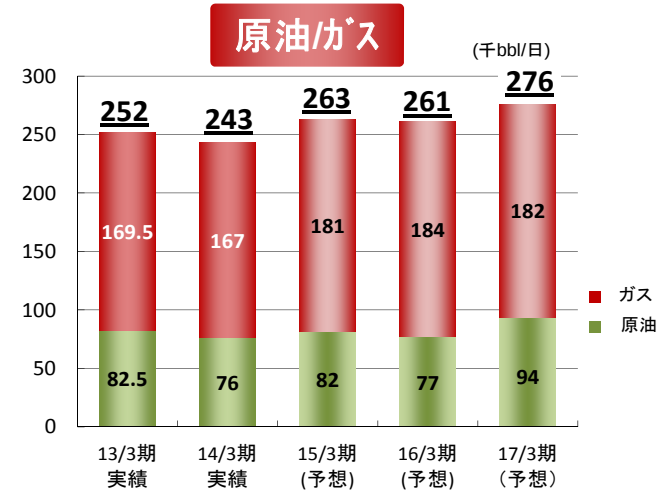
原油価格推移



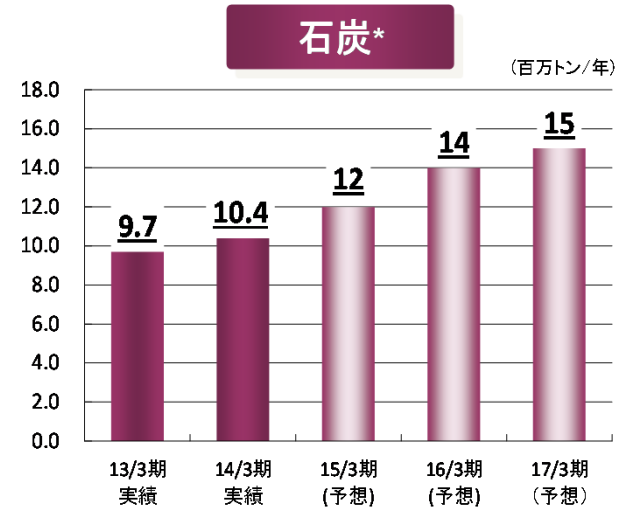
当社持分権益生産量 (2014年5月公表)



* ヴァーレ社生産分の5%を含む



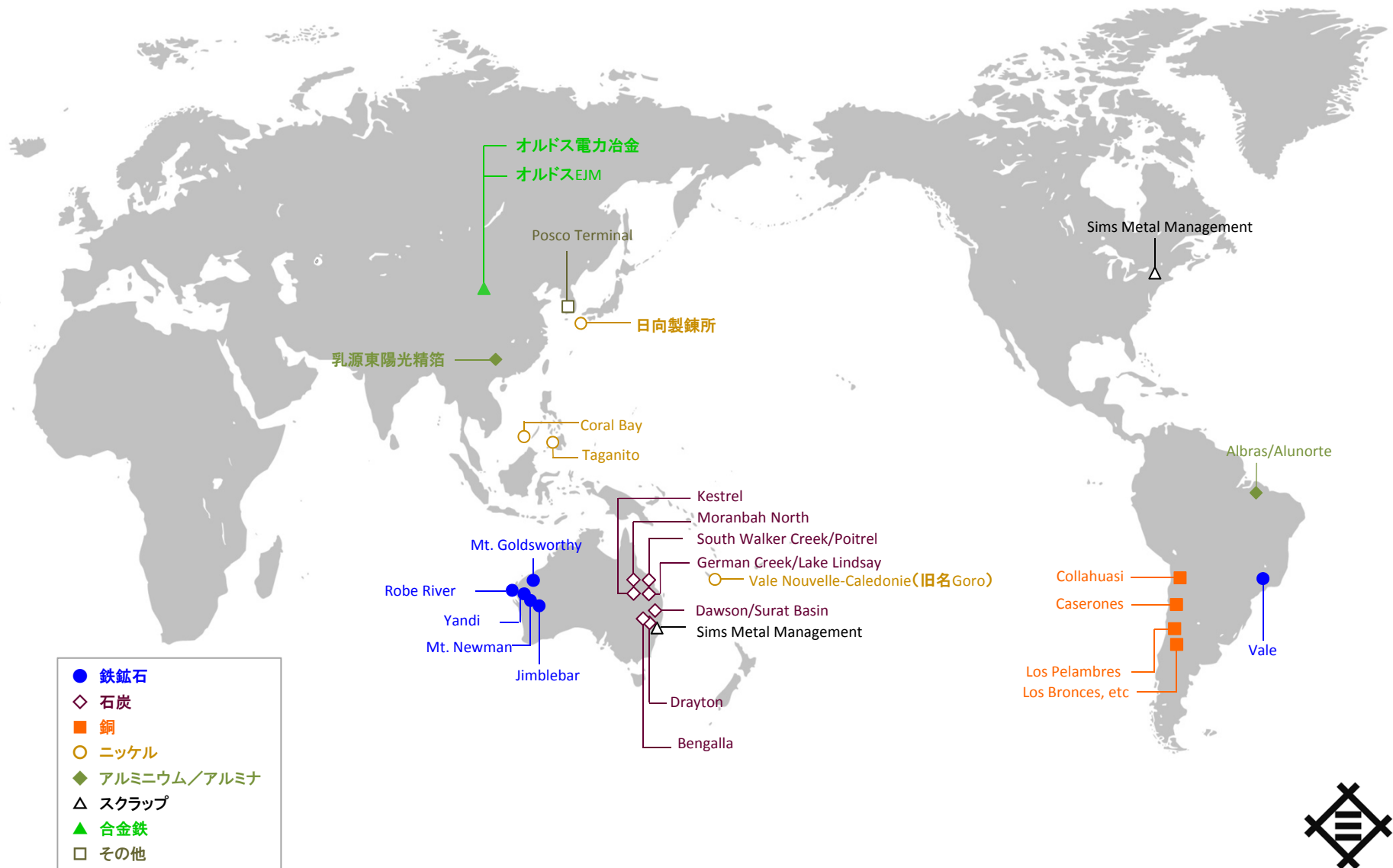
* ヴァーレ社生産分の5%を含む



* 2015年3月期からヴァーレ社生産分の5%を含む

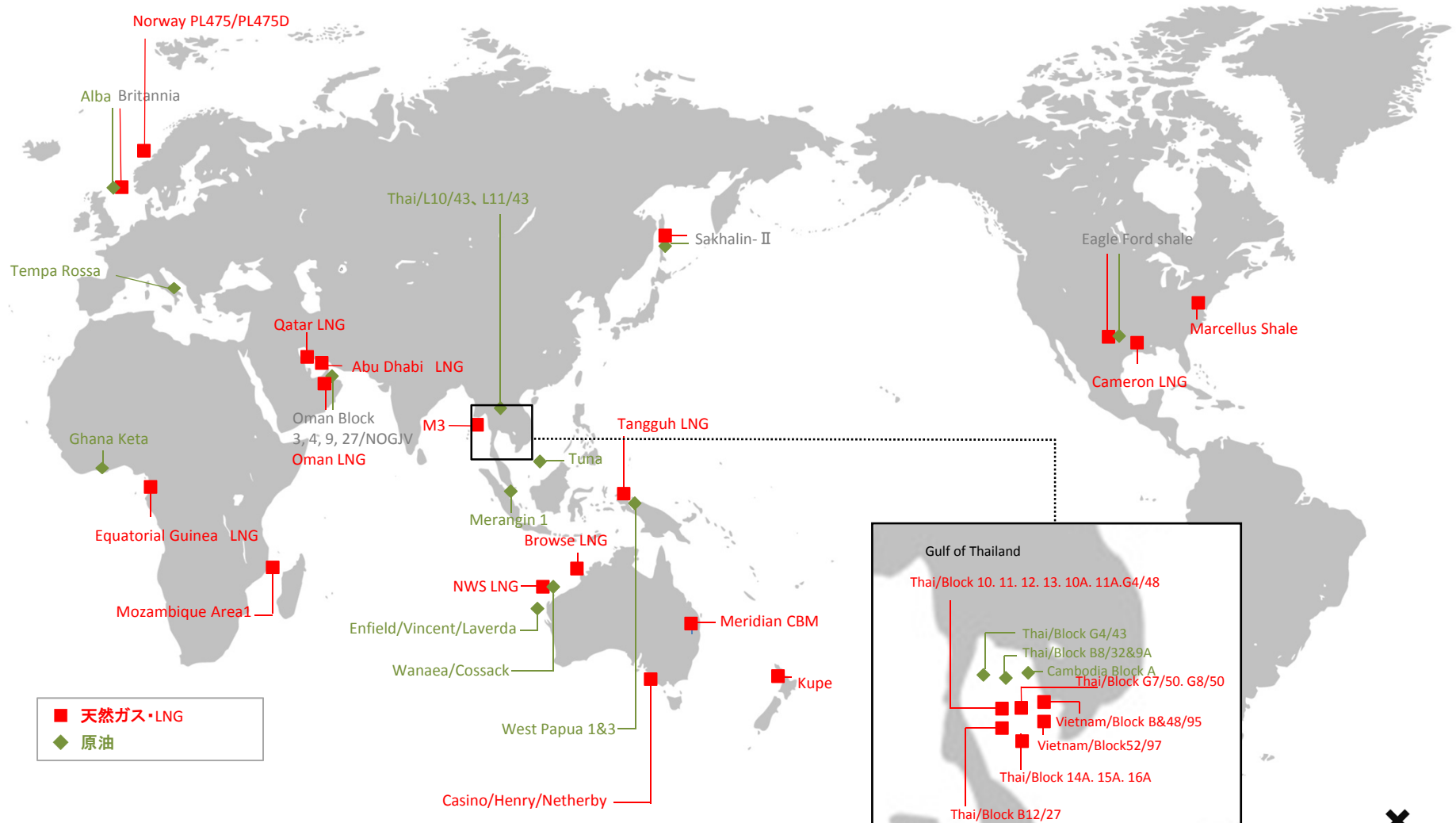
金属資源の主なプロジェクト

2014年12月末現在



エネルギーの主な上・中流権益

2014年12月末現在



原油・ガスの主な上・中流権益

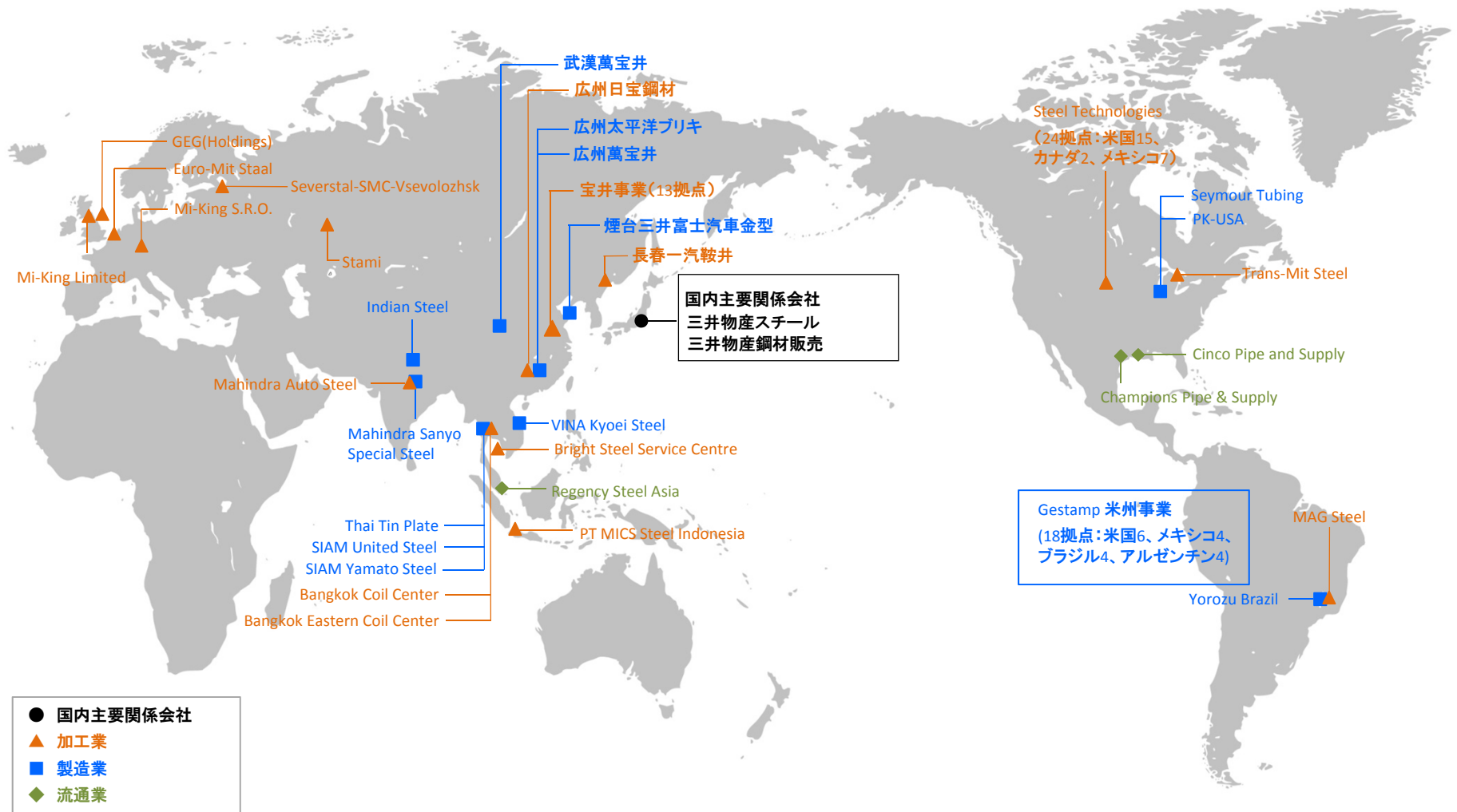
2014年12月末現在



*1 既発見未開発鉱区 *2 一部生産段階移行済

鉄鋼製品の主な事業投資

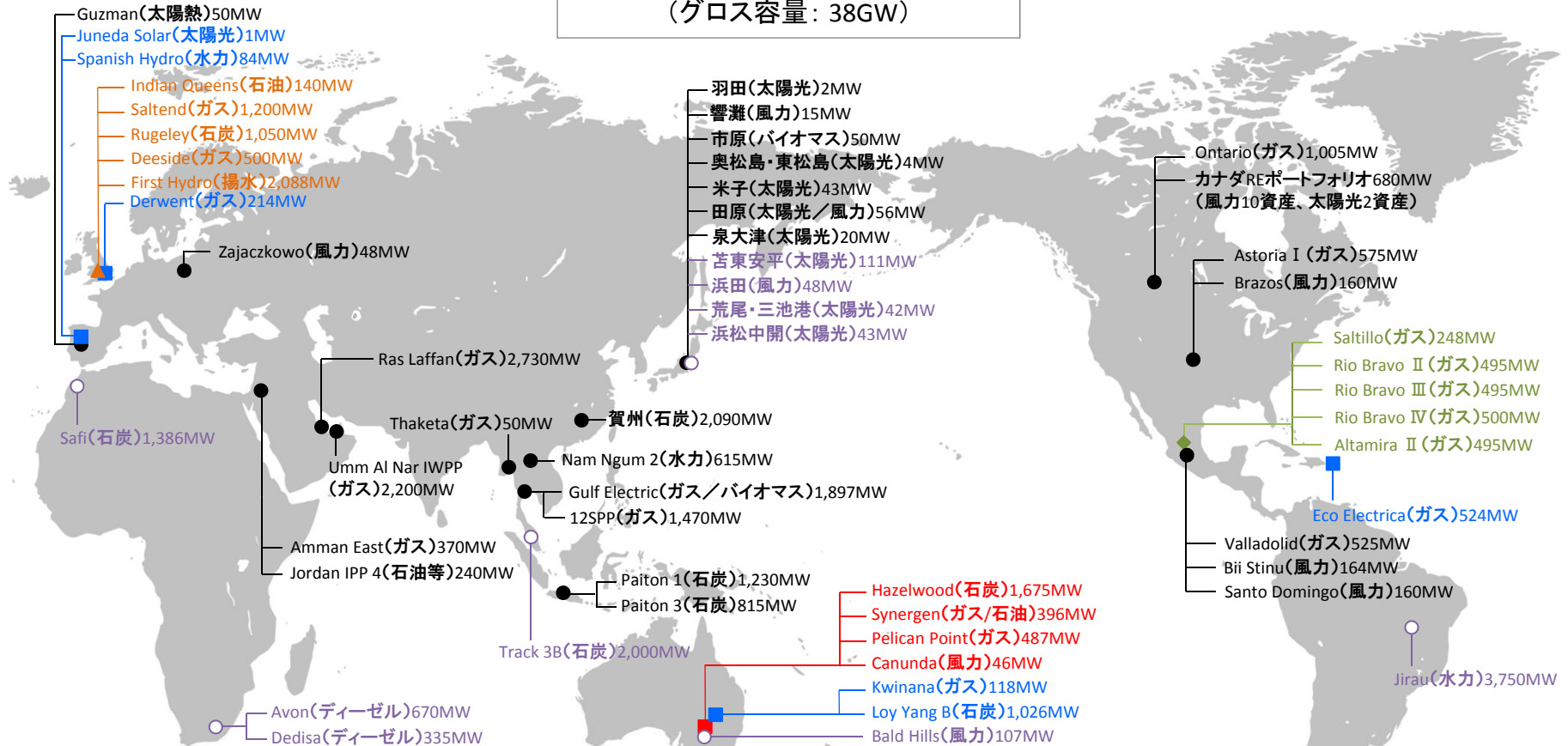
2014年12月末現在



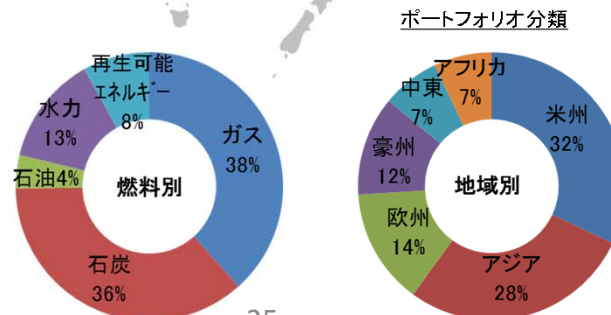
発電事業ポートフォリオ

2014年12月末現在

当社持分発電容量(ネット): 9.6GW
(グロス容量: 38GW)

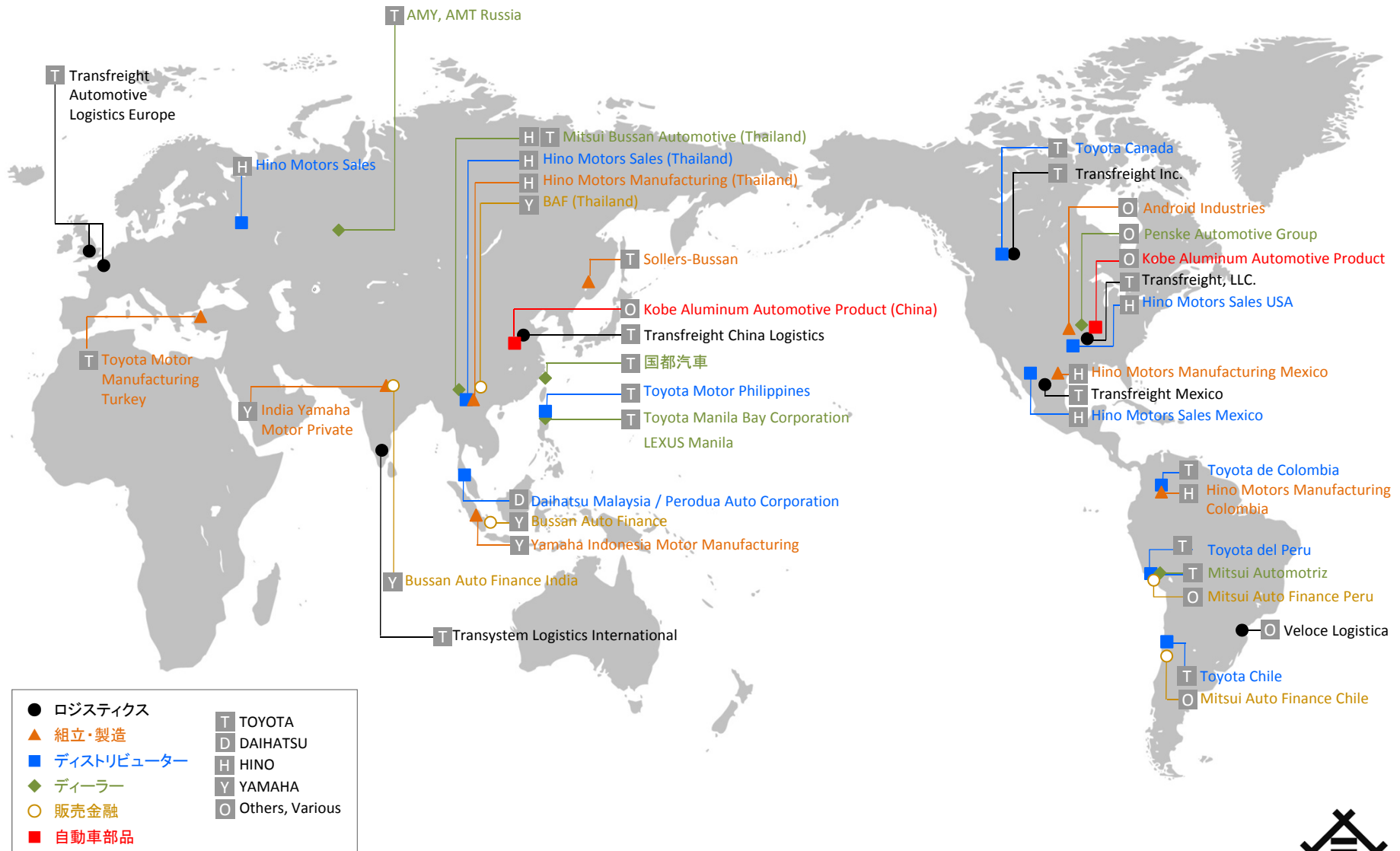


- ▲ IPM (UK) Power社保有資産
- IPM Eagle社保有資産
- ◆ MT Falcon保有資産
- IPAH保有資産
- その他
- 建設中発電所



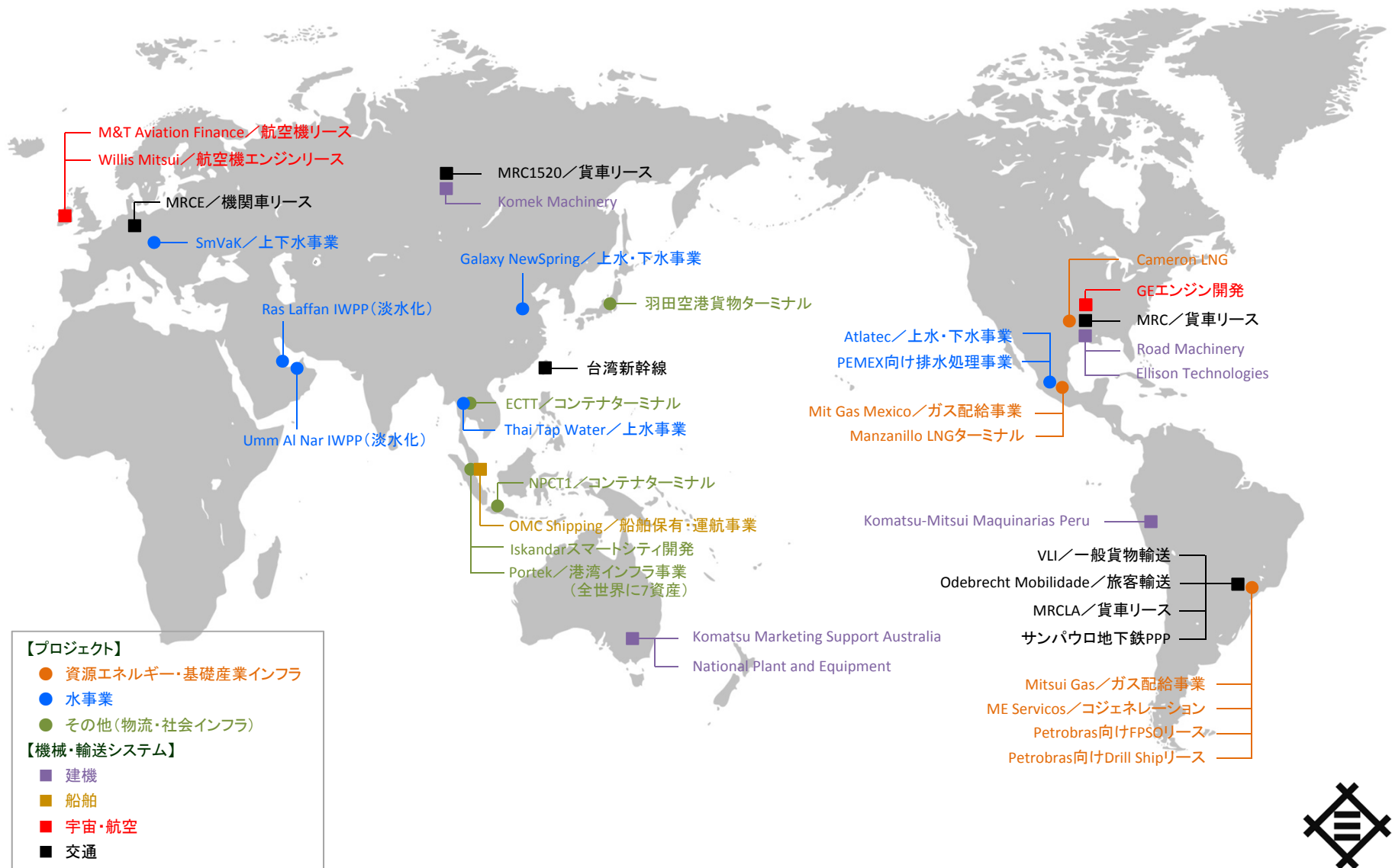
自動車事業ポートフォリオ

2014年12月末現在



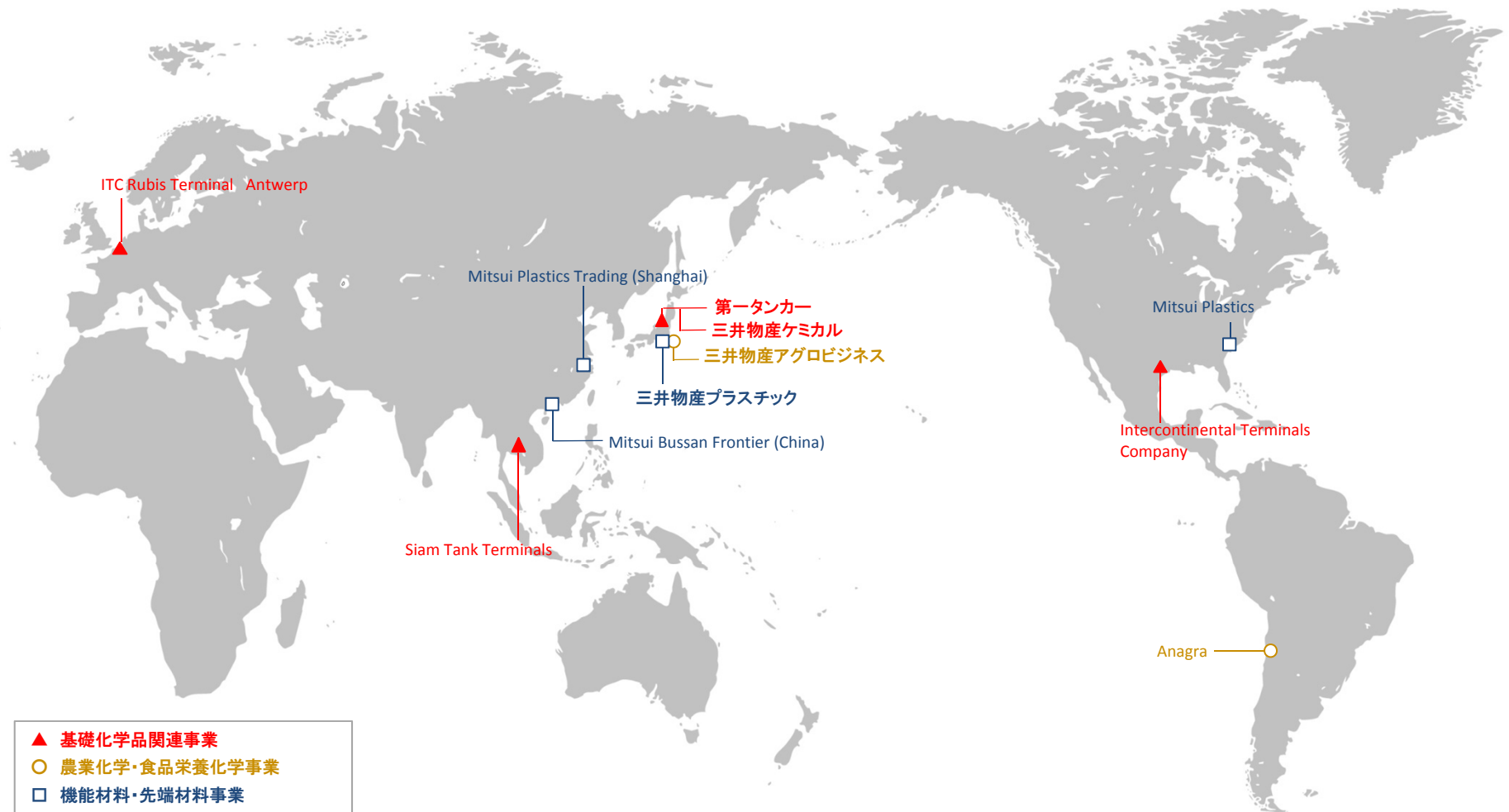
その他の主な機械・インフラ事業

2014年12月末現在



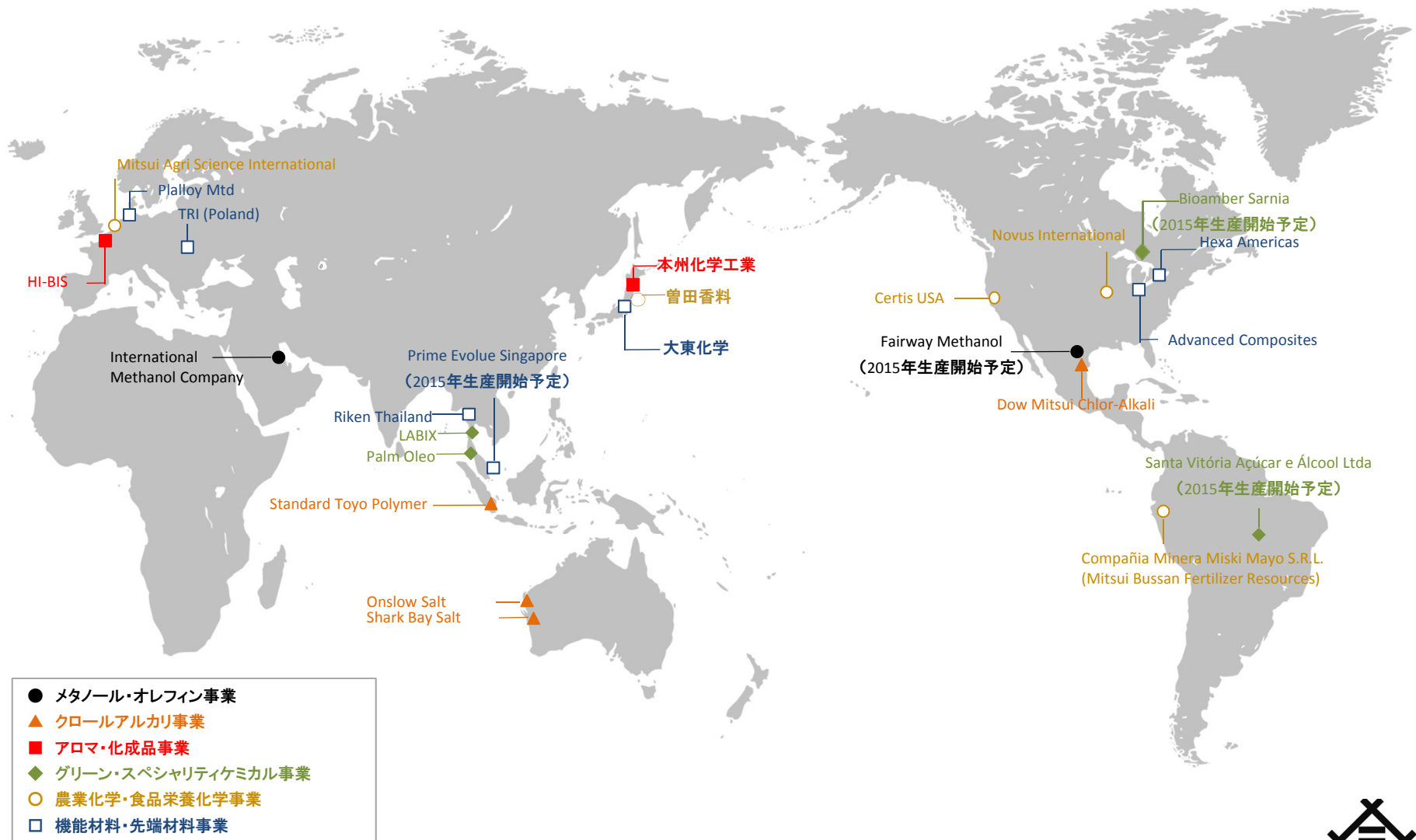
化学品の主な物流事業型投資およびタンクターミナル事業

2014年12月末現在



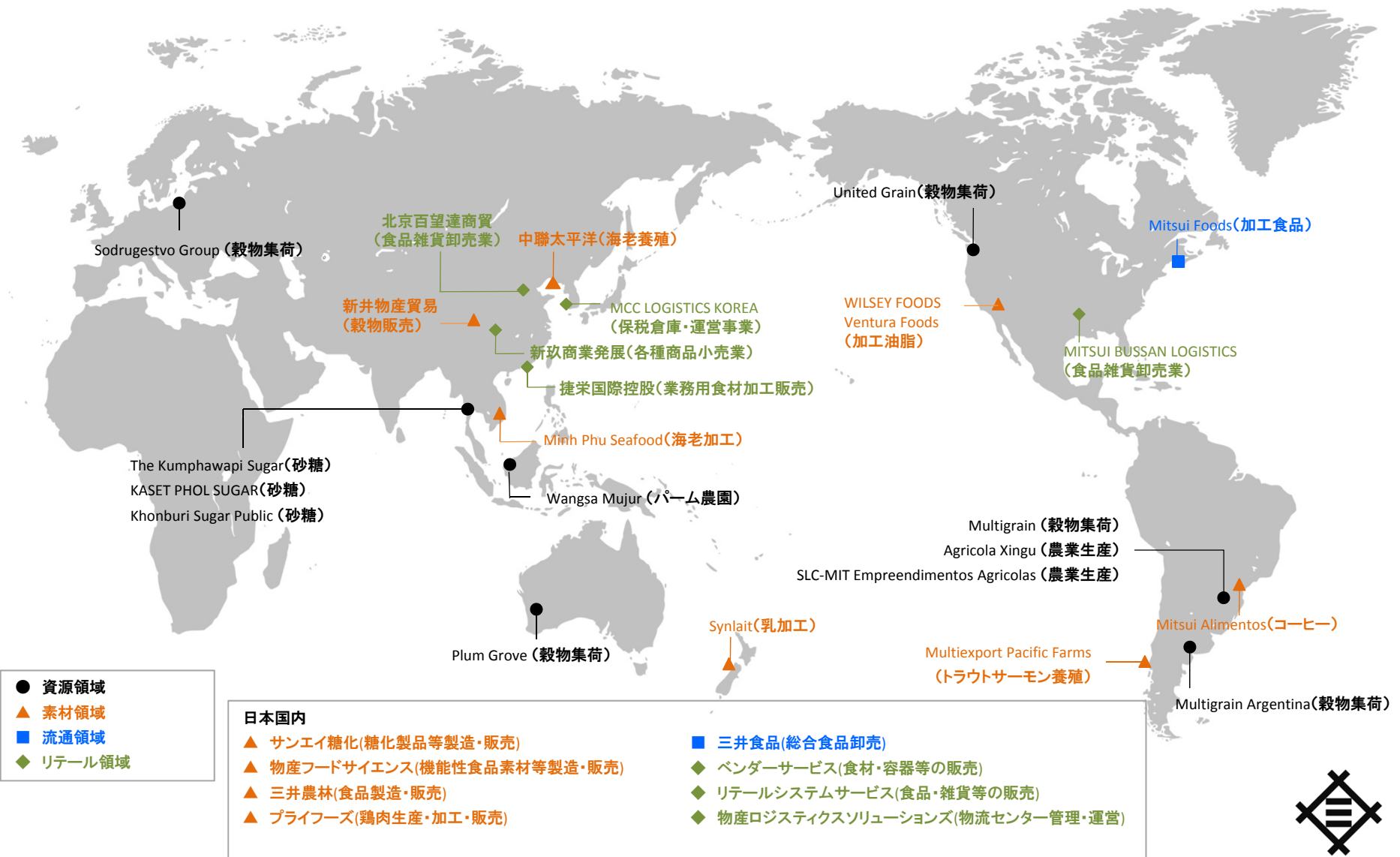
化学品の主な製造事業型投資

2014年12月末現在



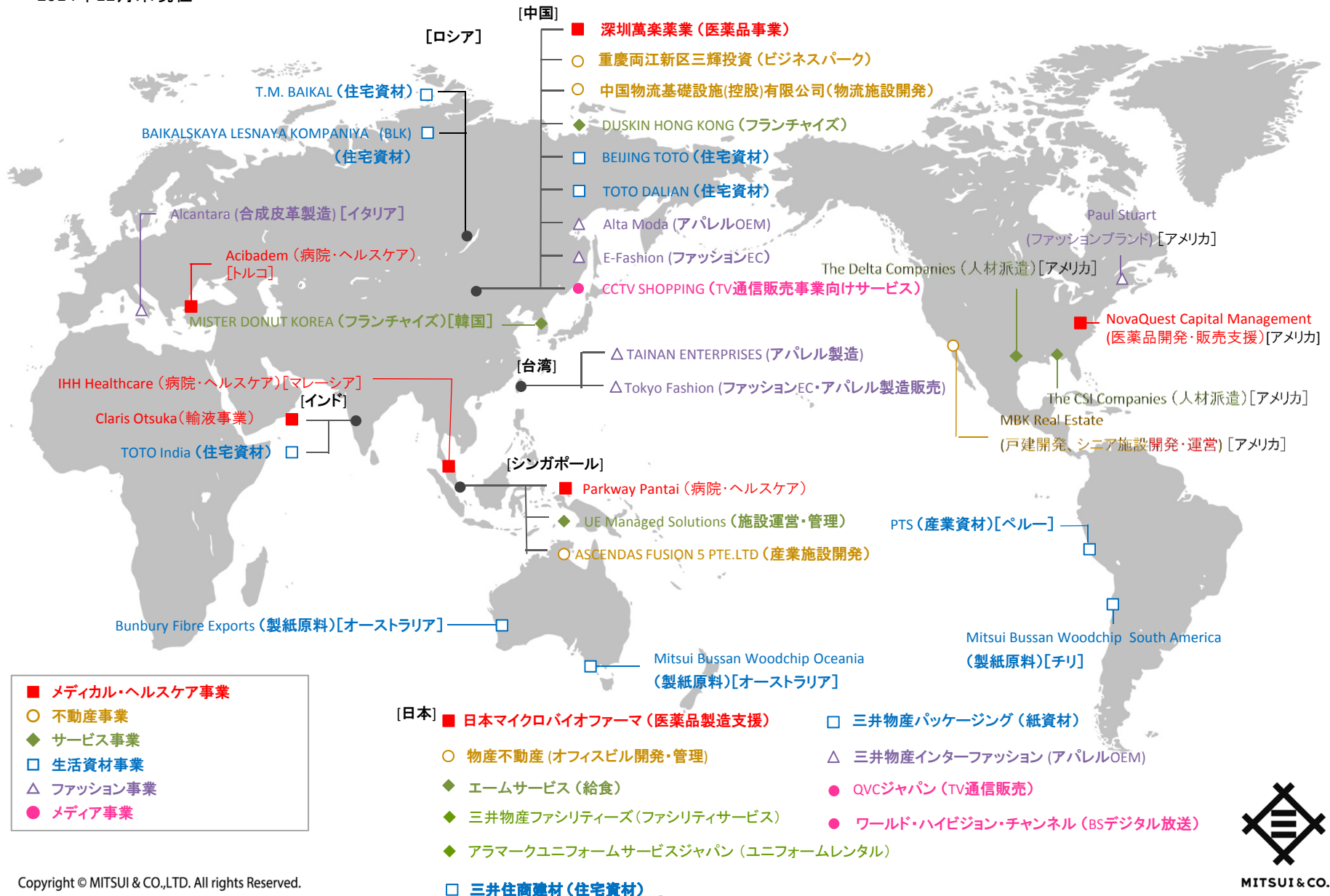
食糧・食品事業の主な事業投資

2014年12月末現在



コンシューマーサービスの主な事業投資

2014年12月末現在



360° business innovation.



MITSUI & CO.